

第1回港区3R推進行動会議議事録（要旨）

平成21年6月3日

まとめ

- 5月23日（土）エコライフ・フェア初出展
- 7月14日（火）エコプラザと共に、ゼロ・ウェイストセミナーを開催
- 「3R推進行動会議」設置要領を一部改正
- 本年度の取組・スケジュール等を検討する企画員会議を、近日中に開催
- 次回は、秋口頃開催予定

1 区挨拶

- 高木課長より挨拶。
- 5月23日（土）に行われたエコライフ・フェアでは、故繊維と廃食油の回収という新たな取り組みを行った。
- イベント自体の参加者も増加したようで、エコライフへの関心の高まりを実感。
- 区議会では、古紙等の資源持ち去り禁止条例が議論される予定。
- 古紙の回収量が減っており、持ち去り防止と併せて回収量増加に向けて取り組んでいきたい。

2 設置要綱の改正について

事務局からの説明

- 「3R推進行動会議」設置要領を、今後の企画運営の円滑化のために改正する。
- 第8条の2として、「分科会等の企画運営について、委員もしくは事業の趣旨に賛同する協力者により『企画員』を選出し、実施することができる」を追加。
- 3R推進行動会議の構成について、現状に合わせて団体名などを改正し、定数16とする。
- 分科会を設ける際は、随時3R推進行動会議に諮る。

3 エコライフ・フェアの報告

事務局からの説明

- 5月23日（土）に行われたエコライフ・フェアへ、3R推進行動会議として初のブース出展。
- 目玉となった資源回収では、155名から古着約900kg、廃食油約53kgが集まった。
- 古着は冬物が多く見られ、廃食油は未開封や消費期限切れが多く見られた。それぞれリサイクルの民間業者へ引き渡す予定。
- 回収時のルール設定が今後の課題であり、汚れた古着や容器からもれている油は回収しないなど工夫が必要。
- みんなとノートを拡大したパネル展示では、「3R」があまり知られていないということがわかったので、「集団回収」等と共に関連付けて広報を行っていく。
- リユース食器のキャラクター名称募集には45通の応募があり、引き続き6月末日までホームページ等で募集する。

意見交換

- 今後のイベント出展は、委員を交えて行うようにした方がよい。

4 全体討議

ゼロ・ウェイトセミナーについて

エコプラザからの説明

- ・ エコプラザが開催するイベントと、3R推進行動会議が開催するイベントが似通っているため、今後協力してイベントを企画実施したい。
- ・ 「ゼロ・ウェイトセミナー」では、徳島県上勝町の34分別リサイクル率80%を取り上げ、港区でのゼロ・ウェイトについて考える。

意見交換

- ・ 7月14日(火)に「ゼロ・ウェイトセミナー」を開催するにあたり、協力体制を整える。
- ・ ゼロ・ウェイトという言葉はまだ馴染みがないため、適当な副題をつけた方がよい。

今年度の進め方について

事務局からの説明

- ・ 今年度は「周知・PRプロジェクト」「重点プロジェクト」「参加型プロジェクト」の3つを展開する。
- ・ 学習会3回、在勤者セミナー2回、フォーラム1回を開催予定。

意見交換

- ・ 年間スケジュールには翌年のエコライフ・フェアまで含めてはどうか。
- ・ 内容が重複しないよう、環境課、清掃リサイクル課、清掃事務所と連携してイベントスケジュールを組み立てるべきである。
- ・ 事業者向けの企画を考える際は、ごみ減量や環境対策に対応する力がない小規模零細事業者にどのように呼びかけるかを考慮した方がよい。
- ・ 港区単独ではなく他の区との連携で行うことも考えられる。
- ・ レジ袋の削減については区も積極的にPRしてほしい。
- ・ リユース食器を利用したイベントについては芝浦運河まつりで経験が蓄積されている。この経験を公開できるような学習会を組み込んでほしい。
- ・ 事務局で具体案を出してもらえると検討が進みやすい。
- ・ 町会の総会などに担当者が出席して3Rに関するPRについて行ってほしい。
- ・ 企画内容や全体のスケジュールを検討する企画員会議を、近日中に開催することとする。参加希望を各委員へ送付する。

5 その他(次回会議の確認等)

連絡事項

- ・ 第2回3R推進行動会議は、秋口頃を予定。開催1ヶ月前までに委員へ通知。